

ほうきさん

2017年

11月

椋本673 存仁寺



古一いつ子さん作

— 法 味 —

秋が深まってまいります。人生も歳を重ねることに深まっていきたいものです。ワインなどアルコールも、熟成の中にまろやかなうまみが出ます。そのような「あじ」のある生き方を送ってまいりたいことです。ある寺院のご法座でのこと、報恩講の法中でおみえになっておられた初老の方が「私は、透析に通うと四時間もいろいろと考えるご縁がありまして、何処かで聞いたお話など、あれやこれやと自分で味わったりしているのですが、最近、毎日自分の評価をしているのです」とおっしゃるのです。「朝目が覚めて、生きていること、これはもう五〇点、今日ここへお参りさせてもらった、これも高得点。こうして話もできたこと三〇点、美味しいお昼もよばれた二〇点、面白いテレビを見た一〇点と、一日のその時々を換算してみると結構高得点がつく、これはその日だけの得点。嬉しいこと、楽しいことは大きく評価。愚痴が出たり、嫌なことはマイナス数点、ちょっとだけ引く。花や、風景や、よき言葉にであう等、その時々を自分の中で受け止めてみると一日ずつ高得点がかなり出ることに気づきました。自分の評価なんて考えたこともなかったが、前向きに生かさせてもらう糧となります。ただあたりまえに日暮するだけでなく、日々の出来事や時間を、一日を大切に生きることにならないかなと思うのです」とお話し下さいました。なるほどと思ってしまうと結構面白い。一日の生活の中に様々に気づきや反省も来ます。自分なりの評価は別として、阿弥陀さまは私そのまま、いつでも、どんな時でも全部ひきうけてくださっています。「生けらば念仏の功積り、死なれば浄土へ参りなん。とてもかくてもこの身には、思い患うことぞなきと思ひぬれば、死生ともに患い無し」（法然上人「つねに仰せられける詞」）お念仏申してまいりましょう。称え、聞かしむる阿弥陀さまの喚び声に、お育ていただいている生活です。

「信心の智慧にいりてこそ 仏恩報ずる身とはなれ」

今月のご法語は、『正像末和讃』第三十四番目の、「釈迦・弥陀の慈悲よりぞ 願作仏心はえしめたる 信心の智慧にいりてこそ 仏恩報ずる身とはなれ」から引用されています。お釈迦さまの説かれる慈悲の心が、私たちに弥陀法として回向されることで、凡夫でありながらも、仏になりたいと願う心（菩提心、願作仏心）とすべてのいのちを救いたい（度衆生心）といった、本来は願わないはずの私たちが、願作仏心をえることで、信心の智慧があらたえられ、仏の恩に報いる生き方があらたに始まる、とおっしゃられているのです。これまで救いのうちにありながらも、そのことに気付かなかった私たちが、あらためて救われることが決まっている尊い存在としての自覚を持ち、すべての生きとし生けるものとともに生きている事実を目覚める智慧をいただく身となるならば、これまで恩に報いることを考えなかった存在が、恩に報いる生き方を考えるようになるということでもあります。「慈しみの心をもつ」ということは、他の存在への思いやりの心や愛情としてさまざまな宗教で説かれています。その中で仏教の大きな特徴は、その慈しみの心があらゆる生きとし生けるものへと想像を広げているという点にあります。「スッタニパータ」という經典には「いかなる生物生類であっても、（略）一切の生きとし生けるものは、幸せであれ。」（中村元訳「ブッダのことばスッタニパータ」）と、自らとともに生きているさまざまないのちのつながりに目覚め、その幸せを願うようになることが仏法に目覚めた智慧あるものの願いだと説かれています。つまり、智慧を得るとは、すべての生命に共感する力を得るということだといえるでしょう。それはまた、他のすべてのいのちの悲しみへの想像力を前提とします。悲しみへの想像力は、自分だけが良い思いをしていればよいといった、欲望を満たすことばかり考えている生き方からは生まれません。親鸞聖人のお言葉で考えるならば、自分にはないはずの智慧にもとづいた慈悲心が、阿弥陀さまからあたえられてそなわる経験、回向された智慧だといえることができるでしょう。救われているという自覚が仏の恩を知ることにつながりますから、「仏恩報ずる身」としての生き方がはじまります。

11月の行事

1日(水) 6時30分 おあさじ
 2日(木) 13時30分 コーラス
 4日(土) 10時 日曜学校・子ども会
 17時 お寺ヨガ
 16日(木) 6時30分 おあさじ
 12時 お斎・無量寿会報恩講
 19日(日) 仏教壮年会一日研修

宗派・教区・鈴鹿組関連 11月の予定

12日(日) 教区門徒総代会結成40周年記念大会
 釈徹宗さん、桂坊枝さん
 19日(日) 第20期鈴鹿組連続研修会 9時光明寺
 ・連研を通して感じ、気づいた、うれしかったこと、
 ・連研を受けて変わったこと、変わらなかったこと
 19日(日)名古屋別院開創300記念法要・記念行事
 北斎の大だるまがよみがえる
 10時記念法要・法話 13時昼の講座 文化祭
 23日(祝) 9時葛飾北斎大だるま絵復元プロジェクト

津市丸の内 正覚寺様「紫雲会」(聴講費700円)

11月17日(火)『遇本眼力』
 奈良・勝光寺 花岡静人師
 11月25日(土)午後1時30分 午後6時30分
 11月26日(日)午後1時30分 報恩講法要
 神戸 高松寺 谷川弘顕さん
 12月3日(日) 婦人会主催 勉強会・バザー・

12月の行事

1日(金) 6時30分 おあさじ
 2日(土) 8時30分 すすはらい(下組)
 4日(月) 8時30分 おみがき・内陣清掃
 7日(木) 8時30分 もちつき
 15時 コーラス
 8日(金) 8時30分 盛物
 9日(土)～11日(月) 報恩講法要
 (9日夕方子ども報恩講)(10日お斎当番 南組)
 16日(土) 6時30分 おあさじ
 お寺ヨガ 17時～19時
 31日(日) 14時 無縁総追悼法要
 22時 除夜の鐘
 1月1日(月) 1時 修正会

報恩講法要作品展示や出店を募集いたします。
 文化祭や趣味で創られた作品などを
 12月9日～11日まで、当山報恩講法要期間
 展示させていただきます。また、マルシェで出店
 販売いただける方11月末迄ご連絡ください。

総代・世話方会より護持経費後期分・積立金
 ありがとうございました。

鐘楼堂の撞木を仏教壮年会で新調
 堀敏郎さんより棕櫚^{しゅろ}の木を寄進いただき、壮年
 会の方々と磨き、取り付けをしていただき
 ました。木が若いので、
 ガーンと響きます。
 仏の願^{がん}を聞いてください



西方寺	11月18日 1時半・7時 / 19日 10時・1時半	小林 光師
存仁寺	12月9日 /2時・7時 /10日 10時・1時半・7時 11日 10時	熊本 松本浩信師
養宗寺	12月16日 2時・7時半 / 17日 2時	大阪 野世真隆師
真福寺	10月21日 7時半 / 22日 10時	桑名 加藤正人師
延命寺	11月5日 1時半・7時	大阪 野世真隆師
光明寺	11月17日 1時半・7時半 / 18日 10時・1時半	根来暁師
常信寺	11月12日 1時	一志 加藤幸子師
西願寺	12月3日 1時	
法敬寺	11月5日 1時半	桑名 大竹章和師
西正寺	11月23日 1時半	菰野 寺尾俊洋師
三宝寺	12月3日 1時	芸濃 山田教尚師
専念寺	12月24日 1時	桑名 大竹輝道師
海端寺	12月3日 1時	

お寺ヨガ 今回のヨガは鼻呼吸法からのスタートでした。
 12月は16日(土)、1月20日(土)です。気がるにご参加ください。仏さまのお話も聞いて心も体もリラックスしましょう。参加費 1000円です。参加予約をお願いします。



鈴鹿組報恩講めぐり、ご参拝ください。全カ寺スタンプ集まった方、組より記念品用意しています